

## 令和6年度 港区立白金の丘学園経営計画

港区立白金の丘学園

校長 篠崎 玲子

## 学園経営計画

## 基本方針（重点目標・中期的目標）

- ◎児童・生徒一人ひとりが活躍できる学園の実現に向けて、児童・生徒が主体的に活動できるような授業づくりに努める。
- ・公立小中一貫教育校における、児童・生徒一人ひとりの学びと安全の保障に努める。
  - ・人口推計に基づく予想される学級数増に対応し、適正な教育活動を保持していく。

## 教育目標

- 相手を思いやり 礼節ある人
- 自ら学び 自ら考え 自ら行動する人
- よく運動し 強い心と健康なからだをつくる人

## 目指す学校像

「児童・生徒一人ひとりが活躍できる学園」

「のびのび学ぶ やさしい学園」～校訓：「10年間の笑顔と真剣」～  
 「地域とともにある学園から地域に根差した学園へ」～10周年に向けて～

## 目指す児童像

「協働的に問題解決に取り組む白丘っ子」～対話（聞く）を通して～

- 思いやりのある子（人にやさしく、自分にやさしく）
- ともに歩む（学ぶ）子

## 目指す教師像

「自ら学ぶ者のみが教えられる」

- 自らを磨き続け、協働して学び続ける教師
- 児童・生徒に寄り添い、心を灯火する熱意あふれる教師
- 保護者、町会・地域との緊密な連携を重んじる教師
- コンプライアンス（法令遵守）意識が高い教師

## 目指す学校像の実現に向けて

「すべての教育活動で人権教育、特別支援教育、安全教育を！」

～言語教育と規範教育を基盤に、対話を通じた良好な人間関係を構築する～

## 具体的な方策

**1 特別支援教育 「自立活動を啓発し、集団適応能力の伸長を目指す」**

- ・早期支援の視点で、校内委員会を中心に、「けやきルーム」の入退室や学習支援員の配置について、組織的に協議・対応する。
- ・活用性の高い個別指導計画・個別の教育支援計画を作成、活用することはもとより、関係する教員、保護者で情報を共有し、自立への支援を行う。
- ・「けやきルーム」を中心として、特別な支援・配慮が必要な児童・生徒に対する「自立活動の啓発」や「集団適応能力の伸長」等、個に応じた自立支援の充実を図る。
- ・特別支援コーディネーターを中心として、すべての教員が特別支援教育に関する基礎的な知識・技能を身に付け、児童・生徒理解を促進させる研修会を企画・運営する。

**2 学力体力向上 「対話（聞く）を通して協働的に問題解決する能力を育てる」**

- ・小学校の教科担任制を各学年積極的に活用して、より専門性の高い授業の実現と指導体制の工夫により、学力体力向上や小1プロブレムや中1ギャップを生まない環境づくりに努める。
- ・図書館司書や「おかサポ」と連携し、学校図書館をセンターとして、読み聞かせ（小）や朝読書（小中）等、さまざまな読書活動を通して、本との時間の楽しさを分かち合わせる。児童・生徒の興味関心を高めるような放課後等の図書館の活用についても展開していく。
- ・授業や体育朝会を中心に、運動習慣を身に付け、体力・運動能力の向上を図る。
- ・学力向上を図るために、校内研究を通して、ICTを効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」の充実や「考え、対話し、自問（内省）する授業」の実践による授業改善を行う。また、忠実に再現した献立を通して国際理解教育の充実に寄与する。
- ・区の施策である「MINATO ICT DAY」や「協働的な学び TRY DAY」を契機としたICTを活用した学びを推進し、「協働的な学び」の充実を図ることで、「自ら学び、考え、行動し、未来を創造する子ども」の育成に寄与する。
- ・学力体力向上のエネルギー源は、バランスの良い食事と正しい食習慣にあると考える。日頃の食育を通して、感謝の気持ちをもって、給食やお弁当をいただく姿勢と態度を育成する。
- ・部活動指導員を活用・連携して、児童・生徒の体力向上や技能の習得と教員の「働き方改革」を進める。

### 3 安全と防犯・防災 「安全があってこそその安心」

- ・児童・生徒が自分の身を守ることを当事者意識をもって理解し、安全な行動できるよう指導する。
- ・恵まれた教育環境と地域環境に対応した安全指導を工夫し、より実践的な避難訓練を計画・実施する。
- ・児童・生徒の状況を鑑み、登下校指導を定期的に行う。
- ・「地域安全マップ」の定期的な点検や交通安全教室及び安全指導（月1回）により、安全教育を推進する。
- ・セーフティー教室、薬物乱用防止教室及び避難訓練（月1回）により、防犯・防災意識を向上させる。
- ・熱中症や感染症、犯罪や災害等、不測の事態に組織的に対応し、保護者・地域、関係諸機関に的確な情報を発信する。

### 4 生活指導 「規範教育の励行による予防的な生活指導の実践」

- ・改訂生徒指導提要进行を基に、「白金の丘スタンダード」（小学校）の凡事徹底と校則の見直しや公開（中学校）により、保護者・地域に情報発信し、児童・生徒の規範意識の向上や主体的にルールを守る態度を育成する。
- ・生活指導重点項目：  
「あいさつ(会釈)・返事」「身だしなみ」◎「ことば遣い」「時間厳守」  
◎重点項目は、継続とし、「自分のことばに責任をもつ」指導をする。  
※ノーチャイムの生活環境を生かし、始業時間を守らせることにより、時間厳守への意識を高める。

### 5 特色ある教育活動 「学校運営協議会並びに「おかサポ」と連携した教育活動」

- ・学校運営協議会並びに地域学校協働活動（おかサポ）とPTAが連携して、教員や児童・生徒のサポートを通して、特色ある教育活動を展開する。

#### 主な活動

- 小学校：図書活動（読み聞かせ 読書感想文講座）、夏季学習会、郷土学習等
- 中学校：部活動支援、定期考査前学習会・長期休業補習、英検・漢検・数検支援等
- ・これまで培った各企業・団体とのネットワークや家庭・地域との連携を生かした体験的な活動を、「学校2020レガシー」として継続・発展していく。
- ・大学企業と連携した、SDGsについての系統的な取り組みを通して、環境保全の意識を高め、将来の持続可能な社会の創り手となる児童・生徒を育成する。
- ・ビオトーププロジェクトの利活用を通して、理科教育・環境教育の充実や保幼・小中

の連携を深める空間に位置付ける。

- ・開校 10 周年式典や記念行事開催に向けて、意図的・計画的に準備を進め、学校運営協議会や地域との連携をより一層深める。

## 6 教育相談 「いじめ、差別、仲間はずれをしない、させない、見過ごさない」

- ・定期的なアンケート調査と校内委員会（随時開催）を中心に、いじめの早期発見に重点を置き、「予見・早期発見・早期解決」に向け組織的に対応し、「いじめ、差別、仲間はずれをしない、させない、見過ごさない」を具現化する。
- ・いじめ発見・未然防止に向けての校風づくりに努める。
- ・「正しいことば遣い」の励行を教職員自ら徹底し、児童・生徒に手本となるよう指導していく。
- ・「封印ことば」「許されないことば」を通して、人権意識を高めるとともに言語教育を推進する。
  - ※「封印ことば」
    - うざい・きもい、死ね・殺す、バカ・ばい菌
    - ←人格・存在を否定することば、表現
  - ※「許されないことば」
    - 家族のこと、身体や病気のこと、国や文化の違い等をからかう、安易に動物にたとえる等
- ・SC（都・区）、養護教諭を中心に、子育て相談や子供の悩み等のカウンセリングを通して、児童・生徒、保護者に寄り添う教育相談体制を充実させる。

## 7 保幼・小中一貫教育 「小学校は就学前教育と中学校のジョイント」

- ・小中一貫教育校の強みを生かし、幼・小中一貫教育（「白金の丘アカデミー」）の研究活動を通して、白金の丘中学校への進学率をUPさせる。
- ・三光幼稚園や近隣保育園との交流を深め、保幼・小中連携やスタートカリキュラムの学習を生かし、幼児教育と義務教育との接続を図る。

## 8 その他

- ・学校だより、学年だよりの配信、X（旧 Twitter）や学校HPのリアルタイムな更新を図り、区民、地域にも積極的に情報発信と内容の精選を図る。
- ・校内掲示物（月目標、学校・学年便り、ポスター等）は、常に新鮮なものを掲示する。
- ・来校者や電話対応に教職員一人ひとりが接客意識をもち、区民、地域からの声にも迅速に丁寧に対処する。

- ・ 服務事故未然防止に向け、意図的・計画的に校内研修会の実施し、教職員一人ひとりの服務規律の意識を高め、服務事故を0(ゼロ)にする。
- ・ 長期休業中の閉庁日や脱印鑑、ペーパーレス化等、「働き方改革」を具現化し、教職員がいつも元気で明るく児童・生徒に向き合い、寄り添えるようにする。
- ・ 学校運営協議会に承認された学園経営計画の具現化に、教職員が一丸（チームビルディング）となって取り組み、「活気とチームワークの白金の丘学園」と称されるよう児童・生徒が活躍できる学園経営を進める。